

地域社会との連携を強める大学の今



近くを通るたびに子どもたちや家族連れで大賑わい、どこの遊園地に来たのかと思われるぐらい賑わっている。広い芝生が広がり、どこからか大学だろうかと門や塀を探してもどこにもなく、自由に出入りができる街中のキャンパスである。昼食時になると併設のレストランやコーヒーストア、学食（11時30分から1時は学生のみ）が大人気。今までにない大学のありように一般市民も興味深く、この地域に開かれた大学の全容を詳しく知りたくて「大阪いばらきキャンパス（OIC）」を訪問しました。説明していただいたのはOIC地域連携課の大滝さんです。

立命館大学大阪いばらきキャンパス

平成27年4月、ここに名実ともに近代的なキャンパスがオープンしました。場所は、JR茨木駅南東の岩倉町。ここはサッポロビール大阪工場の跡地で、この地面の下には弥生時代の遺跡が眠る場所でもあります。

立命館学園は1869年に京都御苑に私塾「立命館」を創設したことに始まり、現在は北海道、滋賀、京都、大阪、大分に2大学と附属高校、附属中学校、附属小学校を有し、児童・生徒・学生を4万8千人擁する総合学園です。その1つがこの「大阪いばらきキャンパス（OIC）」です。地域に開かれた大学というコンセプトを具現化するために、茨木市の公園と一体化したデザインによって整備されました。現在、経営学部と政策科学部の2学部があり、5500人ほどの学生が学んでいます。さらに来年4月には総合心理学部が開設予定で、2019年には7000人ほどの学生数になります。現在は、学生の半分以上が近畿圏外出身者、そして留学生が400人程度います。



社会体験を取り入れた新しい学び方

2つの学部では、書物からだけではなくアクティブな学びを取り入れるため、街に出て、企業や地域の方から話を聞いたりして交流しながら学んでいます。現在は産・学・地の連携によって「立命ワイン・ビール製造プロジェクト」「スマイルコミュニティプロジェクト」「茨木の子どもの虫歯を減らすプロジェクト」などが進んでいます。これらのプロジェクトは、それぞれ学んだ理論を実践に移し、その中で生まれてくる課題を地域や企業の方々と一緒に解決する方法を探りながら学ぼうというものです。



立命ワイン「ぐんて」と立命ビール「iBR(あいビール)」製造プロジェクト



東芝工場の跡地開発や、地元商店街の活性化を考えるスマイルコミュニティプロジェクト



幼児向けオーラルケア製品を扱う丹平製薬（株）と立命館大学が、茨木市と共同で進める「茨木市の子どもの虫歯を減らす」プロジェクト

「コミュニティ創造プロジェクト」で新しいつながりづくり

市民や学生、教員などが様々な立場、世代を超えて出会い、つながり、コミュニティを創り、そこでの交流を通して新たな気づきや学びを得られることを目標にしています。OICでは、すでに「木」、「花」、「本」をテーマにした3つのプロジェクトが動いています。

木を植える「育てる里山」

茨木・千提寺で失われる里山から苗木を採取し、キャンパスに移植して育てる取り組みです。「里山サポートネット・茨木」の方々と市民、学生、教職員が一緒に取り組んでいます。隣接する春日神社の社との連続性も考えたものです。



花を植える「ガーデニング」

市民と学生、教職員が「ガーデニングクラブ」をつくり、デザインの企画から庭づくり、日々の手入れまでをする取り組みです。ガーデニングの魅力や基礎を学べる講座も開催しています。



本を植える「まちライブラリー」

0冊の本棚からスタートして、参加者が自分の書いたメッセージ付きの本を持ち寄り、本棚に「植本」することで、図書館を育てていくものです。人の出会いや交流の場、大学と地域をつなぐ場づくりを目指しています。



コミュニティ創造プロジェクトはまだ始まったばかりです。今後、新しいテーマのプロジェクトが生まれ、これまでになかった新しいコミュニティができてくる可能性を秘めています。

立命館いばらきフューチャープラザ

ここは市民も一緒に利用できるように茨木市が支援し、大学が整備した施設です。教室や図書館、ホールなどがあり、所定の手続きと料金を払えば利用が可能です。

1000人収容のグランドホール、イベントホール、映像設備のある教室や研究施設があり、各種会議やフォーラム、音楽練習など、いろいろな内容に対応できる広さや設備が備わっています。



グランドホール

近代的な設備を取り入れたOICライブラリー（図書館）は、明るくゆったりとした空間に現在約22万冊の蔵書が置かれています。茨木市民は年間2000円の登録料で利用することができます。

5F	ガーデンライブラリー（屋上）	研究施設、産学交流ラウンジなど
4F	OICライブラリー	研究施設
3F	OICライブラリー	教室
2F	OICライブラリー（エントランス）	グランドホール、地域連携室など
1F	茨木商工会議所	受付、イベントホール、音楽練習室、レストラン、コーヒーストア、まちライブラリーなど

ゆったりした学内を見学して

ここは全体が広々としている。特に図書館の広さ、明るさ、資料の豊富さに圧倒されます。窓際のコーナーでは遠望も楽しめて落ち着ける雰囲気でした。私たちの学生時代は校舎のどこも暗い、汚い、狭い、だったので、ここの学習環境は羨ましく思いました。また、学内のいたるところに学生や教員、そして外部からの見学者も座って話し合えるコーナーが配置されていて、まさに地域に開かれた大学という印象を強く感じました。取材のときも4人連れの主婦の方々がロビーのソファで歓談しておられ、「学食で昼食を食べた後ゆっくりくつろいでいます。ウォーキングの途中に利用することもあります。」とのことでした。なるほど、こういう利用法もあるのだなと感心しました。また、年配の方々ばかりでなく、外には芝生広場や遊具もあって、子どもたちとのびのび遊べるので、親子連れの利用にも最適だと思いました。

